

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

dewashonai



息を合わせてジャンプ！ 日本語教室チーム、田川地区大運動会に参加



国際村だより もくじ

- P 2・3：第 29 回出羽庄内国際村ワールドバザール
- P 4：せかいの台所（マレーシア、フランス）
コロラド州訪問団「ユース・イン・アクション」来鶴
- P 5：田川地区大運動会参加
留学生ホームステイ in 庄内
- P 6：ワールドコミュニケーションクラブ
日中・NB・ラフォア各友好協会活動報告
.....[これからの予定].....
- P 7：外国語講座 第 2 期 受講生募集
韓国語特別講座 参加者募集
- P 8：せかいの台所レシピシリーズ～フランス料理～
あとがき・せかいの台所 モーリシャス料理のお知らせ

随時募集中

- ホストファミリー
- イベントボランティア
- コミュニティ通訳ボランティア
- 財団賛助会員

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 93

令和6年9月15日発行

6月

8
(土)

9
(日)

第29回 出羽庄内国際村

ワールドバザール



毎年恒例の国際村ワールドバザール！約 1800 人の来場者を迎え、大盛況に終わりました。外国出身の方々も、実行委員の皆さんと共に料理出店やステージ発表を頑張りました！

初開催！ 『国際村のど自慢大会』

今年はお出羽庄内国際村設立 30 周年記念として、初めて前夜祭で『国際村のど自慢大会』を開催しました。中庭には世界 12 カ国の料理販売ブースを設け、大勢の観客が世界の食も楽しみながら出演者を応援しました。のど自慢大会の前や合間には、津軽三絃秀栄会の三味線の演奏や、ネパールダンス、フラダンスなどのステージもあり、国際色豊かな前夜祭となりました。

大会では 6 カ国、26 人の皆さんが自慢の歌声を披露。母国の歌や日本の歌などを熱唱しました。審査員の他、会場の観客も携帯電話アプリを使った投票で審査に参加し、会場全体で盛り上がりました。チャンピオンはインドネシア出身の留学生、プリスカさん。上位 3 位の他、特別賞や参加賞もあり、「来年は私も歌いたい」という観客の声も聞かれました。賞品を提供してくださった皆さま、ありがとうございました。

賞品提供：

坂東農園様、いで葉工房様、CoCo 壱番屋鶴岡道形店様、鶴岡市食文化創造都市推進協議会様

実行委員長より一言
鶴岡ライオンズクラブ

三浦 雅浩さん



今年はお設立 30 周年の記念開催！そして私が所属している鶴岡ライオンズクラブも結成 60 周年と何かご縁を感じる年でした。実行委員長のお話しが来ました時も、不安でしたが、毎年皆さまが協力し開催しているとのことで喜んでお引き受けいたしました。

今年の目玉は前夜祭の「のど自慢大会」でしたね。初の試みでもあり、国外国内を半々ぐらいのバランスで国際色豊かで実行委員とスタッフで参加者募集から演奏曲の準備など汗をかいいただき、当日は大盛況でした。当日は 5 年ぶりの中国雑技のステージ、津軽三絃秀栄会、フラダンスなどパフォーマンスで盛り上がり、多国籍の屋台料理、国際交流紹介、フリーマーケット、体験コーナーなどとても多くの出展者、お客さんに参加いただいた記念開催となりました。当日まで準備いただきましたスタッフ、関係者、ボランティアの皆さんに感謝申し上げます。

ワールドバザール参加団体

オーグーシー OGC ヒップホップクラス、ゴスペル グリーマーズ、コットン クラブ、協力隊を支援するやまがた地球家族の会、金魚の会、国際ソロプチミスト鶴岡、国際村せかいの台所、酒田ユニサイクルケセラ、さくらスタジオ 双葉 オカリナウクレレ教室、庄内観光コンベンション協会、庄内日独協会、庄内町国際交流協会、シンメトリーズ、だがしや楽校、中国倶楽部、鶴岡市教育委員会（スポーツ課）、鶴岡青年会議所、鶴岡・タイ「子どもの村学園」友好協会、鶴岡田川地区日中友好協会、鶴岡・ニューブランズウィック友好協会、鶴岡ライオンズクラブ、鶴岡・ラフォア友好協会、Te・Tiare Nui フラ&タヒチアンダンススタジオ、出羽庄内国際村日本語教室、Nandani、二胡迷、ハウオリフラススタジオ、羽黒高校英会話部、P P I Yamagata

圧巻の中国雑技！ 多種多様な食文化やステージ

毎年目玉のステージとなっていたプロの中国雑技の皆さんを、コロナ対策で中止して以来5年ぶりにお招きしました。以前から根強い人気がありましたが、今年も久しぶりの素晴らしいパフォーマンスを見ようと、大勢の観客がホールに詰めかけました。一瞬で顔のお面が変わる「変面」は、まばたきもできない程の早業で、顔の模様が変わるたびに大きな歓声が湧いていました。

中庭では14カ国15グループが料理を販売、ホールではたくさんの地元の個人とグループが、歌や踊りのパフォーマンスを披露してくれました。中には珍しいモーリシャスダンスや、プロ顔負けの一輪車の演舞、本格的なタヒチアンダンス等もあり、お祭りを通して庄内地域の様々な多様性を見ることができました。

多くの実行委員の他に、80名以上のボランティアが運営に参加し、料理を出す地元外国出身者や実行委員の皆さんと一緒に汗を流しました。高校生ボランティアも多く、活動をしながらかつた様々な国の人や文化に触れることができました。お疲れさまでした、来年もまたお会いしましょう！



一緒に盛り上げてくださった、ボランティアの皆さんにも感想を聞いてみました。

私にとって初めてのボランティア活動でしたが、適度な緊張感を持って楽しく取り組むことができました。特にタイ料理屋でマンゴーかき氷を作ったことが思い出に残っています。

佐藤 かよさん (高校生ボランティア)

ボランティア歴4年目となる今年は、イベントの要となるステージスタッフをさせていただきました。

コロナ禍から手伝わせていただいた私は、やっと制限がなくなり、解放されたみなさんのいい笑顔や活気、喜びが何より記憶に残っています。

齋藤 愛さん (一般ボランティア)





国際村の料理教室 **せかいの台所**



5/19 (Sun) マレーシア料理
～スティティさんとヘーリさんの台所～



隔月で開催している国際村の料理教室「せかいの台所」。今年度1回目は、マレーシア出身のスティティ・アサーさんと旦那さんのヘーリリードさんに4品教えていただきました。

レインボーライスの「ナシ フジャン パナス」は、名前の通りカラフルな見た目、鶏肉のチリ煮込みの「アヤム マサツ メラ」と相性抜群！と参加者に好評でした。

大人数での料理教室に初めは緊張気味だったスティティさんでしたが、当日はヘーリさんと協力してスムーズに会を進めてくれました。



6/16 (Sun) フランス料理
～ピエールさんの台所～



第2回目は、フランスのジュラ出身のピエール・ボナンンさんに4品教えていただきました。

世界最小の Pasta と呼ばれるクスクスを使った「タプブーレ」は、トマトやレモン、ミントな

どを使った爽やかな味のサラダ。チーズやバターをたっぷり使った濃厚な味が多い今回のメニューでしたが、味の変化が楽しめる一品でした。

会食時にはピエールさんにフランスの食文化や鶴岡での生活について伺いながら、楽しくおいしいひとときを過ごしました。



ホームページより、《せかいの台所レシピ集》をご活用ください。

今回のマレーシア料理とフランス料理 (P8 に一部掲載) のレシピはもちろん、今まで実施してきた各国の料理のレシピを紹介しています。

6/20～6/27

コロラド州からの訪問団

ユース・イン・アクション 来鶴！



アメリカ・コロラド州からの青年訪問団「ユース・イン・アクション」が今年も鶴岡にやってきました。今回のメンバーは10名で、一行は庄内地域の家庭にホームステイをしながら、羽黒高校や鶴岡東高校、加茂水産高校を訪れ、同年代の学生達との交流を深めました。

今回が初訪問となる加茂水産高校では、アイスブレイクで緊張をほぐした後、高校の隣にある水産研究所に移動して、処理の異なるマダイの刺身を比べ、どちらが好みか評価する研究に参加しました。

水産研究所



光を楽しんだメンバー達は羽黒山に移動し、山伏の加藤丈晴さんから出羽三山の説明を聞いた後、石段を登り、日本の文化への関心がさらに深まった様子で

した。

最終日には、一緒に過ごしたホストファミリーとの別れに涙を流す様子もみられ、それぞれ思い出深い滞在になりました。

ご協力いただいたホストファミリーの皆様、ありがとうございました。訪問団は来年も来鶴を予定しています。



5/26
SUN

第69回 田川地区大運動会に参加！

今年も国際村日本語教室チームとして田川地区の大運動会に参加しました。今回は学習者50名、サポーターの日本語指導ボランティア5名、国際村スタッフ1名が参加。通算5回目で最大の選手団となりました。選手の出身国はベトナム、インドネシア、中国、オランダ、フィリピン、マレーシア、ブラジル、タイ、モーリシャス、インド、ベルギーの11ヶ国で、まさに国際チームでした。

参加者は普段、勉強や仕事があり、事前練習はできませんでしたが、全11種目のうち参加資格のある10種目に出場、会場を盛り上げました。選手の大半が日本の運動会に参加するのは初めてで最初は少し戸惑っていましたが、サポーターや地元の方の身振り手振りの説明を聞き、すぐ競技のやり方を理解しました。選手同士にはお互い



リレーの選抜メンバー

に応援したり、一緒に団体種目の作戦を作ったりするなど、楽しく運動会に参加しました。ベルギー出身のコホントンさんは「とても楽しかったし、大会後の反省会にも参加でき、日本の文化も知ることができた。今でも地域の人と連絡を取り合って交流しています」と話していました。



チームワークが試されます

外国出身者にとっては普段地域イベントの参加や地域住民との交流などの機会があまりなく、このような体験はとても貴重です。今年も招待してくださった田川地区の皆様感謝申し上げます。



応援席のみなさん

留学生ホームステイ・ホームビジット in Shonai

鶴岡高专からチュニジア、フィンランド、ドイツの3名の留学生が参加しました。

国際村では県内在住留学生を対象に、地域の皆さんとの交流の機会を創ろうと、夏休みや年末年始などに1泊2日のホームステイ、または日帰りのホームビジットを行うプログラムを実施しています。

国際村のホストファミリーに登録している皆さんにご協力いただき、今回は3名の留学生がホームステイをしました。



日本人の生活について知りたいと今回参加したチュニジア出身のアミンさんは、「一緒に学校祭を見に行ったことが一番思い出に残った」と、文化の違いに触れながら交流を楽しんだことを伝えてくれました。



フィンランド出身のフランさんは、「夏野菜カレーと一緒に食べて、ホストファミ

リーとの時間は充実しました」と話し、ホストファミリーは「フィンランドについてたくさん知ることができた。機会があればフランさんに会いに行きたいと思う」と感想を述べていました。

ドイツ出身のアンドレさんは今回人生で初めて温泉に行ったそうで、ホストファミリーがやさしく接してくれたおかげで心配だった日本語でのコミュニケーションも問題なかったとほっとした表情でした。



普段あまり地域の方との関わりが少ない留学生にとって、日常生活を体験する貴重な機会となりました。協力いただいたホストファミリーの皆様、本当にありがとうございました！

国際村では随時ホストファミリーを募集しております。興味のあるご家庭はぜひご登録ください。





ワールド コミュニケーション クラブ World Communication Club

クレア先生 ありがとうございました！

9月からはリスチ先生と新しい先生が担当してクラブ活動を行います。一緒に活動したい方は国際村までお問合せください。お待ちしております。

ワールドコミュニケーションクラブは中学から高専の生徒が月に一度集まって、英語を使ったクラブ活動をしており、現在14名の中・高生が参加しています。今年度の活動では、国際村館内に折り紙で作った満開の桜を咲かせたり、チーム対抗戦でクロスワードを英語で解いたり、アメリカ・コロラド州から来た訪問団と一緒にカップケーキとシェパードパイを作ったりしました。

クラブ指導を担当しているクレア先生は今夏、故郷のスコットランドに帰国することになり、7月の最後の活動では英語で先生に手紙を書いて発表をしました。クレア先生は2022年の3月から約2年半の間、いつも明るくクラブの指導をしてくださいました。



みんなで作った桜のオブジェの前で

～各友好協会事務局から、今年度の活動報告～



●鶴岡田川地区日中友好協会

7月9日に総会を開き、昨年度の事業報告・収支決算と今年度の事業計画や収支予算などについて協議しました。その後、今春まで中国・成都支店長兼空港所長を務められた全日空庄内空港所の谷口信雄所長に、中国駐在時にみた人々の暮らしや現在の中国国内事情などについて講話していただきました。



ジェームズ・ケイヒル市長へ表敬訪問

●鶴岡・ニューブランズウィック友好協会

6月22日から27日までの日程で、鶴岡市からの訪問団のメンバーとして友好協会より会長、幹事、事務局の3名がアメリカ・ニューブランズウィック市を訪問しました。来年3月に再開する中学生訪問団の派遣や新たな交流分野について、ケイヒル市長と意見交換をしました。姉妹都市盟約60周年記念レセプションでは、大勢の協会関係者が集まり旧交を深めました。

●鶴岡・ラフォア友好協会

今年6月のワールドバザールでは協会として出店し、キッシュやポエなどのニューカレドニア料理を来場の皆さんに味わっていただきました。また、7月の総会後の懇親会では、ニューカレドニアのフィリップ・ロンバルデ氏とビデオ通話し、暴動後の首都・ヌメア市やラフォア市の現在の状況について報告していただきました。



外国語講座 受講者募集!

～国際村賛助会員の方は各種講座の受講料が1割引～

第2期
9月～12月

- 4月～7月、9月～12月、1月～3月の3期に分け、1年を通して学ぶ講座です。受講前に見学をおすすめします。**1回見学無料**(フリートーク型講座を除く)
- 受講される方・見学される方は申込書を提出してください。(全てのコースで必要)
- 各講座 受講者3名より開講します。(入門コース、フリートーク型講座を除く)

♥ **教室型クラス**

教科書やプリントを使いながら、しっかり学びます。
文法などを勉強したい方におススメ。



講座/コース名	講師	期間	曜日	時間	回数	受講料
英語 初心者 英会話	リスチ・スントロ先生 (インドネシア出身)	9/5～12/12	木	19:00～20:30	14	19,600円
中国語	入門 ヤン ヨンリ 詠麗 先生 (中国出身)	9/11～12/11	水	19:00～20:30	14	19,600円
	初級 ウェイ ベンホン 魏 本紅 先生 (中国出身)	9/5～12/12	木	19:00～20:30	14	19,600円
	中級 ジャオ ピン 趙 萍 先生 (中国出身)	9/7～12/14	土	13:30～15:00	14	19,600円
韓国語	入門 ラ スヨン 羅 寿英 先生 (韓国出身)	9/4～12/18	水	19:00～20:30	14	19,600円
	初級 キム ミギョン 金 美敬 先生 (韓国出身)	9/6～12/6	金	19:00～20:30	14	19,600円
	中級 キム ミンア 金 玟兒 先生 (韓国出身)	9/3～12/24	火	19:00～20:30	12	16,800円

♥ **フリートーク型クラス**

お茶を飲みながら、気軽に外国語で会話を楽しむ大好評講座。



《**全コース共通回数券**》

5回券…2,500円

10回券…4,500円

ちょっとお試し

1回500円でも参加可

◎毎月の日程は、国際村ホームページ、Facebookに掲載しています。



★ **参加者募集** ★

韓国語をより実践的に学べる「韓国語特別講座」。韓国の最新事情を尋ねたりして、楽しく会話してみませんか? 学習経験があれば、どなたでも参加できます。



▲前回の講座の様子

韓国語特別講座 「友達と釜山へ go go ~!」

◆日 時: 10月20日(日) 13:00～16:00

◆場 所: 出羽庄内国際村 ホール

◆対 象: 韓国語の学習経験がある方、レベルは問いません。定員20名。

◆参加費: 2,000円(小・中学生 1,500円)

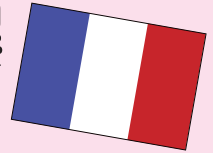
◆申込み: 9月15日(日) 9時～



せかいの台所 レシピシリーズ



フランス料理



講師 **ピエール ボナーンさん**
(フランス ジュラ 出身)

6月16日に開催した「せかいの台所～フランス料理～」より **クィッシュオトーフ** (豆腐のクィッシュ) を紹介します。



豆腐のクィッシュ 【材料5人分】

- 木綿豆腐…250g
- 生クリーム…100ml
- ナツメグ…お好み
- 玉ねぎ…2個
- パルメザンチーズ…100g
- コショウ…お好み
- バター…10～15g
- 牛乳…100ml
- ペストリーシート…250g
- 卵…3個

作り方

①玉ねぎを粗みじん切りにする。フライパンでバターを溶かし、玉ねぎを入れて少し炒めてから蓋をする。



②豆腐を小さな角切りにし、フォークで潰す。



③ボウルに卵、牛乳、生クリームを入れて混ぜ合わせる。



④③に豆腐とパルメザンチーズを加えて混ぜる。お好みでナツメグとコショウを入れる。



⑤クィッシュ皿の底にペストリーシートを敷く。玉ねぎを底に敷き、④の材料を流し入れる。



⑥210℃に予熱したオーブンで、約25分焼く。



10/26 SAT

せかいの台所

～モーリシャス料理～

国際村の料理教室「せかいの台所」は年に6回実施しています。今年度の第3回目は「せかいの台所」初のモーリシャス料理。講師はインド洋の島、モーリシャス出身のナンダニ・バルーさんです。

- ◆日時 10月26日(土) 10:00～13:00頃
 - ◆場所 出羽庄内国際村2階 調理室
 - ◆参加費 1,500円
 - ◆定員 10名
 - ◆持ち物 エプロン
 - ◆申込み 10月5日(土) 9:00より
- 電話で受付をします



モーリシャス共和国は多民族国家の国。料理にも様々な文化が反映されています。今回ナンダニさんの台所ではベジタリアン料理を教えてください。詳細が決まりましたら、チラシ等でお知らせいたします。ぜひご参加ください。

あとなぎ

大学等へ留学生が増加している。出入国在留管理庁の統計データによれば、コロナ禍にあり一旦減少したものの、留学生総数は23年12月末時点ではほぼ回復し34万人を数える。そのうちの92%はアジア出身。直近10年間の国別で比較すると、最も多い中国は13万4千人台となっているが、ピーク時になお1万人届いていない。一方18年に8万1千人だったベトナムはまだ半分強の4万3千人。ミャンマーやスリランカはその不足分を補うが、最も増加しているのはネパールで5万5千人、10年前より4万人増加した。学費も決して安くはないはずだが、日本の大学を目指し、その後、日本の企業を選ぶ若者が増えてくれればと期待する。技能実習では、円安と物価高で日本を選ばなくなったと聞かすが、国ごとの推移をなお統計から読み取りたい。